

地震とアスベスト

阪神淡路大震災から10年 大震災時の対策は十分か？

日時	8月22日(日) 午後2時~4時30分
場所	早稲田大学国際会議場 3階会議室 (地図裏面)
主催	石綿対策全国連 中皮腫・じん肺・アスベストセンター
共催	2004年世界アスベスト東京会議組織委員会
参加費	無料

● 基調報告

「地震で倒壊しやすい建物とアスベスト飛散・その後の健康リスクについて」

独立行政法人 国立環境研究所 社会環境システム研究領域 資源管理研究室：寺園 淳氏

● シンポジウム

— 今までの経験から、今後の地震時のアスベスト対策を考える —

- ・地震時のアスベストの飛散防止と除去作業 その実際と提言
環境コンサルタント：大越慶二氏
- ・阪神淡路大震災で住民とボランティアが行った事 今後の提言
環境監視研究所：中地重晴氏
- ・行政の立場から 今後のアスベスト対策は？
国土交通省総合政策局建設業課建設業技術企画官：牧 哲史氏
- ・医療の立場から
中皮腫・じん肺・アスベストセンター代表：名取雄司氏
コーディネーター
東京農工大学大学院客員教授(元NHK解説主幹)：齋藤宏保氏

●
阪神淡路大震災において多くのビルが倒壊し、吹き付けアスベストが飛散しました。
また、解体や改築時に十分な対策なしに、吹き付けアスベストの除去工事が行われました。
その際のアスベスト吸入による被災地の方々の将来の中皮腫等の発症が懸念されています。

当時、住民や業者や行政が様々に取り組みましたが

その成果と今後検討すべき課題は未だ十分整理されていないようです。

東海及び関東での大規模地震の発生が予想される中、

地震時のアスベスト飛散対策は、防災対策の中できちんと位置づけるべき課題でしょう。

地震によってどの様なアスベスト飛散がおき、どの様な健康被害が心配されるのか？

どの様な飛散防止対策が今後可能なのか？

対策が不十分な場合には、住民はどう身を守ればいいのか？

皆さんとともに考えて行きたいと思います。

第3回会場案内図



会場は、早稲田大学図書館と同じ敷地です。(ピンの立っている所です。)

地下鉄駅出口からは、交番方向へ徒歩10分弱です。

都電駅からは、細い道を抜けて徒歩3分です。

「これからが本番 アスベスト対策」連続シンポジウムのご案内

第4回 「廃棄物とアスベスト -どこが問題か?-」 (最終回)

9月18日(土) 午後2時~4時 平野亀戸ひまわり診療所 4階会議室

解体工事現場で発生したアスベスト廃棄物は？

解体工事現場で十分なアスベスト建材の分別が行われなければ、

中間処理施設や最終処分場においてアスベスト粉じんが野放しに発生していることも考えられます。

今まで触れられることが少なかった、廃棄物とアスベスト問題に迫ります。